

検査項目チェックリスト

検 査 項 目	チェックポイント	欄
1. 配管の状況	汚物や汚水の停滞がないか。	
	配管勾配は 1 / 1 0 0 以上とられているか。	
2. 雨水の流入	マンホールから雨水が槽内に流れこまないか。	
3. 流入枳	トイレの排水等、生活排水が全て接続されているか。 雨水の接続はないか。	
4. 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか。	
5. 誤接合等の有無	生活排水が全て浄化槽に接続されているか。	
	雨水や工場廃水等が流入していないか。	
6. 枳の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な枳が設置されているか。	
	枳蓋は密閉式になっているか。	
	二重トラップになっていないか。	
7. 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか。	
8. 漏水の有無	漏水が生じていないか。	
9. 接触材等の変形、破損、固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
10. ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	空気の出方や水流に片寄りはないか。	
	自動逆洗・手動逆洗の確認はしたか。	
11. 消毒設備の変形、破損、固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	薬剤筒は傾いていないか。	
12. ポンプ（流入ポンプ及び放流ポンプ）設置・稼働状況	ポンプ枳に変形や破損はないか。	
	ポンプ枳に漏水のおそれはないか。	
	ポンプが2台以上設置されているか。	
	設計どおりの能力のポンプが設置されているか。	
	ポンプの固定が十分行われているか。	
	ポンプの取りはずしが可能か。	
	ポンプの位置や配管がレベルスイッチの稼働を妨げるおそれはないか。	

検 査 項 目	チェックポイント	欄
13. ブロワの設置、稼働状況	防振対策がなされているか。	
	固定が十分行われているか。	
	アースはなされているか。	
	漏電のおそれはないか。	
	タイマの逆洗時間逆洗入時間は正しいか。	
14. かさ上げピットの状態	バルブに手が届くか。保守・点検・清掃作業など維持管理を容易に行うことができるか。	
	かさ上げは300mm以内になっているか。	
15. 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検、清掃を行いにくい場所に設置されていないか。	
	保守点検、清掃の支障となるものが置かれていないか。	
	コンクリートスラブが打たれているか。	
16. 社内検査	実績報告書提出前に、配管部も含め社内検査を実施したか。	
17. 保守・点検・清掃・定期検査	申請者に第7条・第11条検査の義務付けを説明してあるか。	
上記のとおり確認したことを証します。 年 月 日 担当浄化槽設備士氏名 (浄化槽設備士免状の交付番号 第 号)		